



第22回愛知県国家戦略特別区域会議 愛知県提出資料

2025（令和7）年5月29日



愛知県豊橋市 豊橋ワイン特区

現状・課題

- 豊橋市では、「農業」、「物流業」、「工業」、「商業・サービス業」といった様々な産業分野で強みがある。農業においては、高齢化・後継者不足による農家数の減少や耕作放棄地の増加などの課題を抱えている。
- 豊橋市は「次郎柿」の生産量において国内トップクラスを誇るほか、ぶどうの生産も盛んである。一方で、農作物の収穫時期が限られるため、多様な農業経営スタイルの実現や新たな地元産ブランド品目の創出のためには、加工等により通年で流通させるための工夫が求められる。
- 現在、本市初となる東名高速道路のスマートICである、豊橋新城スマートIC（仮称）の整備が進められている。スマートIC完成後は、市内外から多くの人の流れが見込まれるため、新たな地域資源創出に向けた機運も高まっている。



事業概要

豊橋市において、特産物として指定されたぶどう及び柿を原料としたワイン（果実酒）を製造しようとする場合の、製造免許取得に係る製造量の要件を緩和する。

酒類の製造免許に係る最低製造数量基準

現行

果実酒 6kℓ

特区

果実酒 2kℓ に緩和



活用による効果

- ・農業者の経営多角化や新規就農者の増加、遊休農地の利用など、農業が抱える課題の解決
- ・新たな地域資源創出に伴う地域の活性化